

鉄道ピクトリアル

2020年12月号 Vol.70 No.12 通巻No.980

〈特集〉思い出のキハ17系

■表紙 八高線のキハ17……………進藤 匡
八王子 1974-9-25

■グラフ

気動車時代幕開けのレジェンド (1~8ページ)

星 晃・伊藤威信・宮崎隆太郎・小林 武・伊藤 昭
……………関根敏男・佐藤道博・米山淳一・福田静二・和田康之
三ッ谷政久・浜村正弘・和田洋一

キハ17系改造郵便荷物車のバラエティ (108~111ページ)

……………大矢 中・星 晃・小林 武・真鍋裕司
私鉄のキハ17系 (112~115ページ)

遊川 清・植木育雄・佐藤利生・大里信之
……………飯塚卓治・真鍋裕司・和田洋一・三島達夫
三浦 衛・今井和彦・米山淳一

*

1950~60年代 キハ17系活躍の頃

……………写真:伊藤 昭・丸森茂男ほか… 27

キハ17系ディーゼル動車 形式集 ……………構成:平石大貴… 32

私鉄に譲渡された元国鉄キハ17系 ……………写真:大幡哲海ほか… 48

*

Pictorial Color Gallery 山陰再発見 ……………大野 秀一…105

JR九州 新D&S列車787系「36ぶらす3」/JR西日本キ
ロ47形「etSETOra」/JR四国 2000系アンパンマン列車
がラストラン/JR東海 飯田線が全線で運転を再開/函
館市企業局7000形7001運行開始/長野電鉄さよならL2
編成イベント列車運行ほか 116~119

トピック・フォト(各地・関東・中部・関西)……………120

東武の話題……………関 周 一…128

北海道の話題から……………白川 淳…130

阪急電鉄 2020年秋の話題……………竹内 宗隆…131

連載・昭和の鉄景(第48回)……………椎橋 俊之…132

■本文

今月の話題:思い出のキハ17系……………編集部… 9

キハ17系誕生当時の国鉄気動車開発……………石井 幸孝… 10

鹿児島本線北部 電化前のキハ17系……………大塚 孝… 18

キハ17系ディーゼル動車のあゆみ……………平石 大貴… 52

房総気動車王国の興亡—キハ17系の活躍を中心に— ……白土 貞夫… 89

私鉄のキハ17系 概観〔前編〕……………服部 朗宏…134

*

鉄道の話……………編集部… 51

書評(669)『昭和30~40年代 北海道の鉄路』……………三木 理史…133

〔キハ17系ディーゼル動車 車歴表

……………作成:千代村資夫・鎗木隆史…155〕

DD51形 往年の運用表から(盛岡・秋田編)……………三宅 俊彦…167

9月のメモ帳……………172

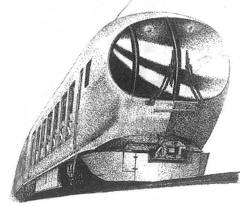
読者短信・情報ファイル……………173

後部車から……………176

ISSN0040-4047

Tetsudō pikutoriaru

今月の話題



カット:山本茂樹

思い出のキハ17系

1960年代末から70年代前半にかけてのいわゆるSLブームの時代、去りゆく蒸機を求めて多くの鉄道ファンが全国各地に繰り出した。その当時、撮影地までの足としては気動車列車を利用して向かうことが多く、ローカル気動車の中心はキハ20系や本特集のキハ17系であり、往時を体験した方々には、趣味の関心として価値は高くなかったかもしれないが、キハ17系は思い出深い車両であったことと思う。大型で一般標準仕様のキハ20系に比べれば、車体長は20m級であったものの、軽量化重視の設計から箱の断面は小ぶりで、キハ17系への長距離乗車はいささか苦痛を伴う感もあった。しかし、わが国におけるディーゼル動車の歴史を振り返れば、キハ17系誕生の位置づけはきわめて高く、1950年代のデビュー以来、その後のディーゼル動車普及の立役者となった名車なのである。

もともと小運転用として出現した気動車が、種々の曲折を経てDMH17系機関と総括制御を可能とする液体変速機の開発で、本格的量産ディーゼル動車として1953(昭和28)年にキハ17系が新製された。両運転台車などの派生形式、試作車の編入形式なども相次いで加わり、全国各地へ非電化地方線区を中心に展開され、輸送近代化に大きな役割を果たしていく。また、2機関搭載の強力型も登場して、勾配区間や優等列車用車両開発の足がかりも担った。両数としては、キハ17形単独では1957(昭和32)年まで402両、他形式をあわせて系列総数で約750両に達しており、1980年代初頭の退役まで気動車の一大勢力を維持して活躍した。後年は地方私鉄に譲渡された車両も少なくない。すでに現役は皆無だが、鉄道博物館とリニア・鉄道館にはキハ11形が保存展示されており、その他若干の保存例も含めて、往時の雄姿を今に伝えている。

TETSUDŌTOSHO KANKŌKAI
Mehrlicht Ochanomizu Bldg., Kanda
Ogawamachi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan